

研究ノート

造礁サンゴ3属 (*Echinomorpha*, *Micromussa* および *Stylaraea*) の和名について

西平 守孝^{1),2)}

Moritaka Nishihira^{1),2)}

日本産の造礁サンゴ類で、未だ和名（日本語の名称）が与えられていない種は多いが、日本語の属名のない属もある。専門的にサンゴを扱う研究者ならともかく、一般市民の学習支援のためのサンゴやサンゴ礁に関連したワークショップや手引書などで、サンゴが学名のみで示される場合は、受講者たちにとって身近に感じにくいことがあるという。このような状況も考慮して、これらのサンゴにも和名を与えておいた方がよいと思われる。

そのため、和名が与えられる *Isopora* 属（深見ら, 2013 投稿中）を除いて、和名がついていないと考えられる少数の種からなる小さな属である *Echinomorpha*, *Micromussa* および *Stylaraea* に日本語の属名を、また *S. punctata* には和名を提案する。

1. *Echinomorpha* 属では現在まで *E. nishihirai* 1 種のみが知られている (Veron, 1990, 2000a)。その種が沖縄を模式産地として記載された当時は、*Echinophyllia* 属キッカサンゴ属（菊花珊瑚属）に属するとされ (Veron, 1990)、その後もそのように取り扱われて (Veron, 1992)、オキナワキッカサンゴと呼ばれてきた (西平・Veron, 1995)。後に *E. nishihirai* 1 種のみが *Echinophyllia* 属から分離されて、新しく *Echinomorpha* 属が建てられた (Veron, 2000a)。この属は、今では本州から東南アジアに至る広い海域に分布することが示されている (Veron, 2000a)。

Echinomorpha 属を、沖縄を模式産地とする菊花珊瑚属の仲間という意味で、種名をそのまま属名にあて、オキナワキッカサンゴ属（新称）（沖縄菊花珊瑚属）と呼びたい。

2. *Micromussa* 属は、*Acanthastrea* 属（オオトゲキクメイシ属＝大棘菊目石属）に属する種のうちでサンゴ個体が小さい (< 8 mm) 種を分離させて、新しく建て

られた属で、属名もサンゴ個体が小さいことによっている (Veron, 2000b, 2002)。この属には現在 3 種が知られており、本州以南のサンゴ礁域に広い分布域を持つとされている (Veron, 2000b)。

Micromussa 属を、コオトゲキクメイシ属（新称）（小大棘菊目石属）と呼びたい。近縁のオオトゲキクメイシ属の多くの種に比べ、サンゴ個体が小さいことによる。

3. *Stylaraea* 属では、現在 *S. punctata* 1 種のみが知られており、イシサンゴ目の造礁サンゴ類では、最小（長径 < 2 cm）の群体性サンゴで、現在 Poritidae ハマサンゴ科に属している (Veron & Pichon, 1982; Veron, 1986, 2000b)。属名も和名もワークショップなどでは仮称されることはあったが、これまで和名は与えられていなかった (西平, 2002)。このサンゴは、西部太平洋のサンゴ礁海域に分布することが示されている (Veron, 2000b)。

Stylaraea 属を、ヒメサンゴ属（新称）（姫珊瑚属）と呼び、*S. punctata* をヒメサンゴ（新称）と名付けたい。これらの名称は、群体サイズが極めて小さいことによるもので、「ヒメ＝姫」が小さいことを意味することによる。

投稿中の論文原稿を参照させて頂いた深見裕伸氏らのご厚意と、2名の査読者に感謝したい。

参考文献

深見裕伸・磯村尚子・岩尾研二・立川浩之. 2013. ミドリイシ科ニオウミドリイシ属（新称）*Isopora* の分類および生態. 日本サンゴ礁学会誌, (投稿中)

¹⁾ (一般財団法人) 沖縄美ら島財団 総合研究センター 〒905-0206 沖縄県本部町字石川888 m-nishihira@okichura.jp

²⁾ 名桜大学 総合研究所 特別研究員

- 西平守孝・J. E. N. Veron. 1995. 「日本の造礁サンゴ類」.
海游舎, 東京. 439pp.
- 西平守孝. 2002. 「サンゴのはなしーおきなわの造礁サンゴたちー」. 沖縄県環境保健部. 沖縄県, 那覇. 72pp. (一部改訂)
- Veron, J. E. N. 1986. Corals of Australia and the Indo-Pacific. Angus & Roberto, Sydney, 664pp.
- Veron, J. E. N. 1990. New Scleractinia from Japan and other Indo-west Pacific countries. Galaxea, Sesoko Marine Science Laboratory, University of the Ryukyus, Okinawa. (12); 147-183.
- Veron, J. E. N. 1992. "Hermatypic corals of Japan". Australian Institute of Marine Science, Monograph Series, 9: 1-234.
- Veron, J. E. N. 1993. "A biogeographic database of hermatypic corals. Species of the Central Indo-Pacific, Genera of the World. Japan". Australian Institute of Marine Science, Monograph Series, 10: 1-433.
- Veron, J. E. N. 2000a. "Coral of the World. Vol. 2.". Australian Institute of Marine Science and CRR Qld Pty Ltd. 429pp.
- Veron, J. E. N. 2000b. "Coral of the World. Vol. 3.". Australian Institute of Marine Science and CRR Qld Pty Ltd. 490pp.
- Veron, J. E. N. 2002. "New species described in Corals of the World". Australian Institute of Marine Science Monograph Series, 11: 1-206.
- Veron, J. E. N. & M. Pichon. 1982. Scleractinia of Eastern Australia, Part IV Family Poritidae. Australian Institute of Marine Science Monograph Series, 5: 1-159.